

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

海外伝道 ニュース

2020 in Autumn

*Go into all the world and preach
the gospel to all creation.
Mark 16:15*



日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

海外伝道部

J.A.G. World Mission Department

巻頭言

宣教師の妻として

「私自身が更に主を求めめるために、
主は私をここに置かれたのだと思います。」



関本 美奈子
(ライリピン・ダバオ)

フ

イリピン・ダバオに派遣されました。娘が生まれる前は主人と共に訪問をしたり、畑作をしたり、夫婦で活動をしていました。

しかし四年前に娘を出産して以降、子育てで忙しく、以前のように夫婦で現場に行つて活動する機会が少なくなり、しかし、神様の御業を直接体験する機会は娘が生まれてから増えたように思います。恐らく、私の神様への必死さが宣教地に行つたおかげで増したからだと思います。

神様は祈りを通して多くの御業を見せてくださいました。親戚や頼れる日本人が周りにいない環境の中、夫婦で病気になった場合、頼れるのはイエス様しかないので、本当に必死に祈りました。その都度、神様は癒しを通して祈りに応えてくださいました。

娘が生後半年の頃、夫婦でノロウイルスのような症状になったことがあり

ました。夫婦で倒れてしまったら娘の世話を誰がするのだろうかと不安になり、症状が出始めてすぐ日本の母教会に連絡し、教会の方々に祈ってもらいました。すると暫くして主人が癒され回復し、娘の世話をすることができました。私はその後四日間ほど苦しみました。私はその後四日間ほど苦しみました。娘は健康のまま事なきを得ました。

またある時は、私の足の親指の爪が剥がれ、癒しのために祈ると、数時間後に剥がれていた箇所が、真新しい爪に完全に再生されました。主の癒しの御業は様々なところで起こり、個人伝道中の日本人の方も脳腫瘍のステージ4と診断されていましたが、多くの方の祈りによって完全に腫瘍が消え、主の癒しの御業を経験しました。

また、昨年 Dengue 熱にかかった際は、病院が満室で入院できず途方に暮れていた時、奉仕先の教会の姉妹と病院の

玄関先でバッタリ出会いました。雨漏りの修理のため使われていなかった部屋があり、その方の仲介によってその部屋に入院できました。癒しの御業だけでなく、書ききれないほどの様々な主の守りと恵みを受けております。

エレミヤ書の29章13節には、「あなたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つけるだろう」とあります。宣教師の妻として異国に行かなければ、ここまで必死に祈り求めることもなかったかもしれませぬ。想定外の事が起こり、色々な事が思い通りに進まない異国での生活を通して、私自身が更に主を求めめるために、主は私をここに置かれたのだと思います。

私たちの働きと健康のためにいつもお祈りして下さっている皆様日々感謝しております。

特集

米国邦人宣教を終えて

5年の学びと10年の働きを振り返る

” 10年間に渡り、支えて頂き有難うございました。心より皆さんの愛と応援に感謝致します。

「米国留学生」と神様の導き

二〇〇五年に中央聖書神学校卒業後、出身教会の金沢キリスト教会の祈りと応援を受け、私（矢吹大介）は家族と米国に留学しました。留学後に宣教師訓練生となり、宣教師になっていきましたが、初めから宣教師になる目的で渡米したではありませんでした。留学後のことは分からない私達に当時の主管牧師の船津行雄先生は、「将来どのようなかとは判らないが、留学を終える頃に神様が次に進む道を示してください。ではないか」と言って励ましてくださいました。主は確かに、先をご存知で、私達を米国邦人宣教師としてくださいました。

二〇〇五年に中央聖書神学校卒業後、出身教会の金沢キリスト教会の祈りと応援を受け、私（矢吹大介）は家族と米国に留学しました。留学後に宣教師訓練生となり、宣教師になっていきましたが、初めから宣教師になる目的で渡米したではありませんでした。留学後のことは分からない私達に当時の主管牧師の船津行雄先生は、「将来どのようなかとは判らないが、留学を終える頃に神様が次に進む道を示してください。ではないか」と言って励ましてくださいました。主は確かに、先をご存知で、私達を米国邦人宣教師としてくださいました。

それから三年間神学校の学びに専念しなければなりませんでしたが、妻の抛子は一歳と三歳の娘を育てながら、自宅や教会で留学生や婦人向けの日本語による聖書の学びと交わりを始めました。自主的なグループでしたが、徐々にスモール・グループとして教会に組み込まれ、さらに日本語日曜礼拝から日本人を含むインターナショナルの方々を伝道するインターナショナル礼拝になりました。

01 / 洗礼を受けたミホさん（左）と導いたエリカさん（右）
02 / 巡回中に賛美をする矢吹愛さん（左）、安子さん（右）
03 / 南カリフォルニア女性大会
04 / 第4回日本人大会の集会
05 / 日本語フェロシップ結成決起集会
06 / 第4回日本人大会でご奉仕にあたる矢吹ご夫妻と日本語フェロシップのロゴマーク



Rev. YABUKI Daisuke & Yoriko
矢吹大介・抛子ご夫妻



06



04



05

「宣教師となった後の働き」と神様の導き

私達は二〇一〇年に、米国アッセンブリー教団の中に日本語フェロロシップを形成する宣教師として日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団によって任命されました。私達は同じビジョンを持つ人達を見つけ出し、ネットワークを作り、日本語フェロロシップのメンバーに加盟するように働きかけました。日本人に対する偏見を持つ人たち、加盟が教会の益になるか分からない方々も、「セントラル教会がそのようにやっているなら」と安心してお話を聞いてくださいました。

二〇一二年から開始した中西部日本人大会は、日本語フェロロシップのビジョンを掲げて人々を招きました。娘の日曜学校の教師が、教団の広報部の方で、全国に向けて集案内を記事にしてくださいました。日本アッセンブリー教団の先生方にもお越しいただいて奉仕をして頂きました。新しい繋がりが拡大していくたびに喜びが溢れました。

中西部日本人大会は教団本部のエスニック・リレーションズ・オフィス（異文化関係事務局）のスコット・テンブル先生に認められました。この影響が全米各地に広がるために、各教区の異文化宣教部門の担当の先生方と連携しました。私達は教団本部から送り出され、新しい州に入って行き、そこで受け入れられました。集会を様々な場所で開催し、福音を語りました。

日本語フェロロシップのビジョンを語るたびに仲間が増えました。ミズーリー州スプリングフィールド市での中西部大会（四回）、ハワイ教区（四回）、ニューヨーク教区（二回）、ケンタッキー教区（一回）、ノースウエスト教区（二回）、オレゴン教区（二回）、ミシガン教区（一回）、南カリフォルニア教区（二回）、フロリダ教区（二回）、合計二十回の集会と

なりました。娘たちもほとんどの宣教旅行に参加してくれました。家族の絆に感謝致します。

二〇一四年、世界アッセンブリー百周年記念聖会がスプリングフィールドで開催された際には、日本のツアー参加者が日本語フェロロシップ結成決起集会に参加してくださいました。当時の理事長の細井眞先生をはじめ、諸先生方、元宣教師のパーキンズ師夫妻やディッキン師夫妻が祈って下さいました。

第四回中西部日本人大会（二〇一五年）の二日目が設立委員会となり、その三か月後の二〇一五年六月に日本語フェロロシップは米国アッセンブリーの理事によって正式に承認されました。選出された四名の役員がチームとなって、全米邦人宣教を導きました。二年に一度の聖会を開き、総会も開き、全米邦人宣教のために心を合わせて祈りました。私は第二期（二〇一五年〜二〇一九年）に会長として奉仕させて頂きました。主に感謝致します。

二〇一七年、日本語フェロロシップは女性宣教部と教会開拓部を設置しました。米国アッセンブリー内の女性ミニストリーや教会開拓増加局と協力して宣教を進めました。妻の抛子はハワイ、オレゴン、コロラド、南カリフォルニアの教区で日本人女性と集いを持ち、二〇一七年から二年間、二十三ヶ国のエスニック・フェロロシップの女性代表に任命されました。女性の総務局長のバーネット先生と二十三ヶ国の女性の中から教役者を生み出す大会を予定しておりましたが、帰国せねばならず心残りでした。しかし、ブラック・フェロロシップの女性がリーダーとなって導いて下さっていますので感謝です。一人の日本人女性の救いの証をご紹介します。

昨年七月末に日本帰国の準備で私達は忙しかつたのですが、フロリダ州の教会に出席されているエリカさんから日本人伝道の協力要請を受けました。日本語聖書や弟子化のテキストをセントラル教会から送りました。今年の四月、日本人女性のミホさんがイエス様を信じて洗礼を受けたというご報告を受けました。ミホさんは日英のコミュニケーションの困難さの中になりましたが救われました。ミホさんのご主人はコロナウイルスにかかったそうですが、ミホさんの病を恐れない信仰に驚かされたということでした。ご主人は現在、回復して元気です。

私達は二〇一九年八月に帰国しました。コロナウイルス感染者拡大、二十万人以上の死者、多くの失業、人種差別問題デモ、アジア人への差別と大きく揺れ不安定な米国内になりました。日本から、主に抛り頼んで生き抜いている邦人の方々の為にどうぞ覚えてお祈りください。また日本語フェロロシップが現地のリーダーによって聖霊に導かれ前進していきますように覚えてお祈りください。

ヘブル書11章33〜34節をもって終わらせていただきます。「彼らは信仰によって、国々を征服し、正しいことを行い、約束のものを得、獅子の口をふさぎ、火の勢いを消し、剣の刃を逃れ、弱い者なのに強くされ、戦いの勇士となり、他国の陣営を陥れました」。私達は、外国の地において弱い立場、弱い者ではありません。しかし、弱さの只中に主の強めと働きを見させて頂きました。祈ることに、聖霊の臨在の中で宣教を前進させていくことができただけを感謝しています。二人の娘、愛と安子の為にお祈りくださりありがとうございます。主に栄光がありますように。

追悼 顔林石永師を偲んで

台湾原住民の住む山地に40以上の教会を立てあげた師。
日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団との架け橋にも。

舅・顔林石永の人生

台湾原住民宣教 丸山 陽子

舅の顔林石永が103歳の地上での働きを終えて、しばらくの眠りに就きました。

舅は数年前台北の私たちの教会のすぐ近くに越してきて、召される週まで教会に来ていました。自宅で三女と賛美し祈った後、疲れたと言って横になり、そのまま召されました。

舅は日本が台湾を統治していた大正7年に奥深い南山という山地で生まれました。18歳の時に高砂義勇兵という原住民の精鋭部隊に志願し、南方の最前線で日本のために戦いました。日本が敗戦する

と、多くの日本兵を助け、自力で台湾に帰国しました。

その後村長を歴任し、アメリカの宣教師との出会いによって救われました。それから長老教会と、後にアッセンブリーの巡回伝道師になり、タイヤル族の山地に40以上の教会を建設するという偉業を成し遂げました。

日本語が堪能で、日本に赴き原住民と日本アッセンブリーの架け橋を築いてくれたのも舅です。私たち夫婦は舅の使命を引継ぎ、原住民宣教に続けて邁進していきたいと願っています。

Information

2020～2021年

10月23日(金)、12月11日(金)、2月12日(金)、4月9日(金)

MISSION: POSSIBLE ～かつてないフロンティアへ～

宣教師と直接話せるチャンス！

知っているようで、意外と知らない海外宣教の実情。今回、海外伝道部では世界各国で活躍中の宣教師と直接話すことのできるオンラインイベントを企画しました。海外宣教って実際何してるの？現地での生活は？など、この機会に宣教師や宣教地について、もっと身近に感じてほしいと願っています。各回ごとに海外伝道部員がコーディネーターとして参加しますので、質問せずに話を聞くだけでもOK。個人でも、教会単位でもお申込み可能ですので、たくさんのご参加をお待ちしております！

お問合せ・お申込み

チュアめぐみ / ✉ niihamagospel@gmail.com



日時 / (全4回 すべて19:30開始 ※各回ごとに申込必須)

- ① 2020年10月23日(金)【矢吹大介・抛子元宣教師】
- ② 2020年12月11日(金)【関本英樹・美奈子宣教師】
- ③ 2021年2月12日(金)【山城良美宣教師】
- ④ 2021年4月9日(金)【丸山陽子宣教師】

ところ / オンライン (ZOOM利用)

お申込方法 / 各集会の1週間前までに下記連絡先のいずれかまでご連絡ください。

☎ 0897-46-3707 (ライトハウス新居浜福音キリスト教会)
☎ 080-4031-1668 (個人携帯)